

中の島神社

札幌市豊平区中の島2条3丁目7-35

電話：011-821-5841

(中の島まちづくりセンター)

行神 こ社 うに

vol.31



中の島神社

ハルニレの夫婦神木に触れると
夫婦円満に。縁結びにも効果

中の島中学校や豊平老人福祉センターの近くに、ひっそりと建っているのが中の島神社。住宅街の中で、その周囲だけ厳かな空気が漂っているため、何とも不思議な印象を受ける。鳥居をくぐってみると、宮司はおるか人っ子一人いない。しかし境内の雪が脇へよけられ、道ができているなど、どこか人のぬくもりを感じさせる。

境内が手入れされているのは、神社の近所に住む有志のおかげ。宮司の代わりに地域住民が協力して、祭りや参拝行事を執り行っている。近隣の学生たちがゴミ拾いなどのボランティアに参加しているというのも、ほほ笑ましい。

同神社の歴史は明治10年ご

ろ、開拓者によって三神を祭る祠が作られたことから始まった。昭和26年ごろには、北海道水産孵化場から水の神「弁天宮命」を合祀。中の島神社はすでに「水波能売命」という水の神を祭っていたので、これで水の神様は二つになった。何とも大らかで、懐

が深い神社なのである。さらに注目したいのが、2本のハルニレの木。この夫婦神木には地の神が宿るといわれ、触れると足腰の疲れや肩こりが和らぐとか。「御神木に触れて、腰が楽になった」と喜ぶお年寄りも多いという。さらに夫婦円満、縁結びなどの効果もあるそうなので、デートコースに組み込めば、二人の絆が一層深まるかも？



土地の幸せを守る「大國主命」、食物と商売繁昌を司る「稲倉魂命」、水の神「水波能売命」「弁天宮命」を祭る



狛犬の関節の作りが、多少きこちないのはご愛嬌。雪化粧した姿は、冬季だけのお楽しみ